



本院で治療を受けておられた腎不全の患者様の中で3名が新規に当院で血液透析を受けられることになりました。これまでは遠方の透析施設に転院していた方が多かったのですが、迷惑をかけることなく、私ども

現在の透析室は透析ベッドが5床あり、昨年までは1週間のうち、月・水・金の午前5名、午後5名の10名体制で、実際には8名の患者様の透析治療を行っていました。

しかし、10名体制では最近のわが国全体の医療問題でもある透析患者数の増加に当院としましても対応できず、これまでは当院の近くに住んでおられる患者様でも、透析が必要な病状になると仕方なく遠方の施設に転院していただいております。また透析の患者様で脳

外科や整形外科の手術を受けた後のリハビリ、あるいは脳卒中を起こした後の後遺症に対するリハビリが必要であるのに透析を続けながら入院リハビリの出来る適切な病院がないために困っておられた方にも迷惑をおかけしてまいりました。

そこで、火・木・土の午前も透析室を開けて15名まで対応できるようにしましたところ、少し透析ベッドに余裕が出来まして、思いのほか、多数の透析患者様に利用していただくことが出来ました。具体的には、

当院で治療を受けておられた腎不全の患者様の中で3名が新規に当院で血液透析を受けられることになりました。これまでは遠方の透析施設に転院していた方が多かったのですが、迷惑をかけることなく、私ども

本紙春号で「透析室の新たな体制」と題して、当院の血液透析室をご紹介させていただきました。その時、夏頃には完成する予定とお知らせしておりました新しい透析室が、少し遅れましたが、平成16年11月1日に協和会病院の7階にオープンすることになりました。

## 特集

# 血液透析センターがオープンします。

透析センター長・内科部長 谷下 人氏

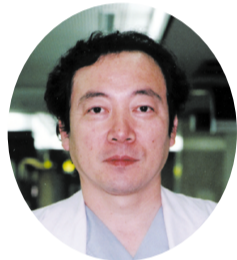
歩行が可能となり自宅に近い透析施設に戻って行かれました。透析病院である井上病院からは整形外科の手術目的で転院されて来られ、手術が終わって元気に帰って行かれました。また、現在入院を継続してリハビリ中の透析患者様では、近くに言語リハビリのできる施設がないからというところで、遠く堺市から転院して来られた患者様もおられ、当院の大阪府下でも希少な言語療法の機能がお役に立っております。

また、淀川キリスト教病院からは脳卒中後遺症の患者様、整形外科の手術後で歩行が困難な患者様がそれぞれリハビリ目的で当院を紹介され転院して来られ、がんばってリハビリをされた結果、

新しい血液透析センターは透析ベッド数20床と現在の4倍の規模となりますので、計算上は80名の患者様に対応できることになりました。より多くの患者様に喜んでいただけてますよう精進してまいりますので、協和会病院の血液透析室を利用していただきますようよろしくお願いいたします。



## 地域医療連携について



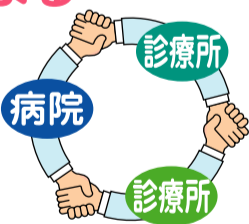
診療情報センター長  
循環器科部長  
大黒 哲

地域医療連携 診療情報管理・広報の3部門を統合する診療情報センターの長として、厚生労働省が推進する「地域医療連携」について解説いたします。

地域医療連携とは、地域の医療機関が自らの施設の実情や地域特性に即して医療の機能分担や専門化を進めた上で相互に円滑な連絡を図り、各々の機能を有効活用することにより、住民が地域内で継続性のある、最適な医療を享受できるようにするシステムです。つまり、二つの病院がすべての医療機能を提供するのではなく、各医療機関が得意とする機能を十分発

地域医療連携室のスタッフ  
左から 末澤 廣子、佐名木 務、内藤ルミ子

## 医療連携によるそれぞれの主なメリット



### 患者様側

- ① かかりつけ医と病院医師との連絡が密で安心できる
- ② 症状に応じた適切な医療が受けられる
- ③ 目的とする診療科を直接受診できるので待ち時間が短くなる
- ④ 入退院がスムーズになり、入院期間も短縮できる



### 診療所の先生方

- ① 高度医療を必要とする患者さんが適切な病院にすぐ入院できる
- ② 高額な医療機器が利用できる
- ③ 紹介した患者さんに関する詳細な情報がフィードバックされる
- ④ 病院からの逆紹介が円滑になる



### 病院側

- ① 日頃の情報交換により、かかりつけ医とのコミュニケーションが良くなる
- ② かかりつけ医との機能分担が明確になり、双方の機能が十分発揮される
- ③ 外来業務が軽減される分、病状説明や入院医療に専念できる



## 新入職医師の紹介



呼吸器内科  
茂木 隆

10月11日付で、協和会病院へ入職しました。山陰地方で生まれ育ち、島根医科大学を昭和63年に卒業しました。大阪に居住して約10年になります。

この神々が皆出雲大社に集まり諸国から神がいなくなる月との説があり、島根医大のある出雲市は神有月ということになります。また出雲大社は縁結びでも有名で、今度の入職も何かの縁であり職員・スタッフとも協力して頑張っていくことと意思を固めています。



内科  
放射線科  
小林 洋子

早いものでこの病院に来てもうすぐ2ヶ月になります。仕事に打ち込める幸せな環境下でがんばらねばと思う日々です。

校時に地元(倉敷市)の原美術館でよく絵を見ていたからかもしれません。時間のたつのも忘れていたことを思い出します。この病院では放射線科技師の方や他科の先生方とフィルムを前にして意見の交換ができることもうれしいことのひとつです。具体的な臨床状況を知らることができ、実際の各現場での対応を聞けるので、新しい知識を増やすこともできます。診断はもちろん、治療についてももっともっと勉強したいです。

## よこかわクリニックを訪問して



横川晃治 院長  
(大阪市大卒業)

『よこかわクリニック』は、吹田市朝日が丘町に地域密着型のクリニック(内科・小児科・皮膚科)として開設され、早や7年になります。日常診療以外にも往診によく出かけておられるとのことでした。

まず、患者様の身になって診療すること、納得していただけるまで丁寧に説明することを心掛けていて、温かみがあり、小回りの利く『かかりつけ医』でありたいとお考えで診療されています。

また、病院-診療所連携の重要性を強く感じておられ、必要に応じて適切な専門施設を紹介するようにも努めているとのことでした。

縁あって当院にも患者様を紹介していただいたり、MRI検査やCT検査の依頼をいただいたり、日頃より大変お世話になっております。

なお、いま話題の血液さらさら度を測る高価な血液流動性測定装置をいち早く導入され、動脈硬化度を測る血圧脈波検査装置と共に、ご希望がございましたらどうぞお気軽に相談いただけたらとのことでした。

(編集子 北村博司)

## あなたも骨の精密検査を受けてみませんか!



高齢者社会となった今、寝たきりの原因の一つである骨折に関係の深い“骨粗しょう症”に大きな関心が寄せられています。

骨粗しょう症による骨折が腰椎、大腿骨頸部、手関節に多いことから、これらの骨折好発部位の骨密度を直接測り、骨折の危険度(リスク)を知ることができます。



この検査は、骨粗しょう症の診断のみならず、①その後の経過はどうか? ②治療の効果は上がっているのか?などの判定にも役立ちます。

当院は、近畿圏内屈指の“骨の精密検査ができる”医療機器を装備し、正確なデータ結果を参考にして骨粗しょう症の予防および治療を進めています。

(放射線科・科長 北村 博司)

骨の検査を希望される患者様は、担当医師にご相談の上、ご予約をお願い致します。

検査日 火曜日 9:00~12:00 13:00~17:00  
金曜日 13:00~17:00

## 協和会病院ご案内

医療法人協和会 協和会病院 吹田市岸部北1丁目24番1号 (代)06-6339-3455

- 理事長 / 木曾 賢造
  - 院長 / 増田 公人
  - 開院年月日 / 1988年(S63)3月
  - 診療科目 / 内科、循環器科、胃腸科、消化器科、外科、整形外科、脳神経外科、放射線科、リウマチ科、リハビリテーション科
  - 専門外来 / 眼科(木曜日午後)、泌尿器科(月曜日午後)、皮膚科(水曜日午後)、神経内科(木曜日午前)、血液内科(水曜日午前)、小児科(月・水・金曜日午前)
  - 診察時間 / 午前診 9:00~12:00(月~土曜日)  
午後診 13:00~15:30(月~金曜日)  
夜診 17:30~19:30(月~金曜日)  
日曜診 9:00~12:00
- ※救急は24時間体制で対応します(二次救急指定)。

### 病院理念

一知・技・心  
専門的な知識と技術の向上を図り心をこめて安心の医療を提供します

### 基本方針

1. 「患者様中心」を常に心がけ信頼される医療を提供します
1. 医療技術の向上につとめ専門性の高い医療を提供します
1. 人員・設備・環境を整え安心の医療を提供します
1. 二次救急指定病院としての役割を担い地域に求められる医療を提供します
1. 患者様・職員共に人権を尊重し公正な医療を提供します

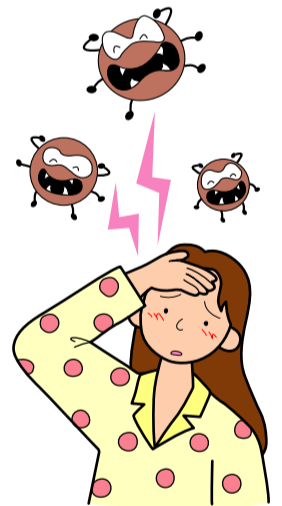
医療法人 協和会 協和会病院 2004.4.1

## 予防が一番!! インフルエンザ

インフルエンザはインフルエンザウイルスによって引き起こされる呼吸器感染症で、普通の風邪とはまったく違う病気です。風邪によく似た症状もみられるため誤解されやすいのですが、インフルエンザの場合、40度近い高熱がでるなど全身にさまざまな症状があらわれます。

**インフルエンザは予防できます。**

インフルエンザの予防には、予防接種が有効です。ワクチンを投与することで体内に抗体をつくり、病気にかかりにくくしたり、かかっても重くならないようにするのが予防接種です。



今年もワクチン接種を実施します

期間：11月1日~12月24日  
時間：月曜日~金曜日  
10:00~12:00 14:30~15:30

但し13歳未満：木曜日 10:00~11:00  
金曜日 17:30~19:00

費用：4200円(税込)  
受付：予約制 受付にてしています

## 健康講座のご案内

平成16年11月20日(土) 開演：午後2時~

『脳卒中を知ろう!~基礎と症状~』

兵庫医科大学付属病院 脳神経外科 助手 林 宏氏



お気軽にご参加下さい。

会場 ウェルハウス協和 吹田市岸部北1-24-2  
2F食堂(協和会病院併設)

お問合せ先  
TEL 06-6339-3455  
協和会病院まで

## 編集後記

和～なごみ～も皆様へ愛読されて2年が過ぎました。皆様の暖かく、そして時に厳しいご意見、ご感想に支えられ、一進一退を繰り返しながら経験を積み重ねて参りました。まだまだ勉強が必要で、とても卒業というわけには行きませんが、定年を迎えるため広報誌委員長を交代します。今後とも和～なごみ～にご期待ください。

次号の特集もお楽しみに

広報誌編集委員長 言語療法科科長 柏木 敏 宏